



2018年2月14日  
株式会社リクルートライフスタイル

## 運命の人とはどんな場所で出会うのか？ 外食での「出会い」の実態を調査

**結婚相手や恋人と「外食先で出会った」17.9%**

**直近1年に外食先で「新しい出会いがあった」16.4%**

**“友達以上”になれる場面は「結婚式、二次会」「祝い事」「横丁」**

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）の外食市場に関する調査・研究機関「ホットペッパーグルメ外食総研」（<https://www.hotpepper.jp/ggs/>）は、外食をきっかけとした出会いについてのアンケートを実施しましたので、その結果を発表いたします。

### <要約>

**POINT① 結婚相手や恋人と「外食先で出会った」人は17.9% . . . P3-4**

- 結婚している、または、恋人がいる人の相手との出会いは17.9%の人が「外食先だった」との回答。30代男性では「外食先で出会った」が特に高く、31.1%。
- （参考）調査対象者のうち「結婚している」人が62.7%、「恋人がいる」人が10.2%。

**POINT② 直近1年に外食先で「新しい出会いがあった」人は16.4%。**

**知り合ったきっかけは「もともと紹介される予定だった」が33.6%**

**. . . P5-6**

- 直近1年に外食先で“友達以上”になった「新しい出会いがあった」16.4%。
- 知り合ったきっかけは、1、2位が「同行者からの紹介」で、うち「もともと紹介される予定」が33.6%、「予定はなかったが紹介された」が27.0%。
- 「自分から声をかけた」は20～40代男性で高め。声をかけるのは男性から女性へが多い。

**POINT③ 「出会い率」の高いシチュエーション・場所は**

**「結婚式、二次会」「祝い事」そして「横丁」！ . . . P7-8**

- 「出会い率」1位の業態は「ナイトクラブ、クラブ、ディスコ」で30.6%。
- シチュエーション別では、1位「結婚式、二次会」（16.3%）、2位「バースデーパーティーなどの祝い事」「横丁」（ともに8.6%）。

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

## 調査概要と回答者プロフィール

◎調査名	外食市場調査(2017年12月分)
◎調査方法	インターネットによる調査 首都圏、関西圏、東海圏における、夕方以降の外食および中食のマーケット規模を把握することを目的に実施した調査(外食マーケット基礎調査)の中で、外食をきっかけとした新しい出会いについて、外食先で結婚相手や恋人と出会っているかどうか、出会った外食先の業態やシチュエーション、直近1年間での外食先における新しい出会いの状況などを聴取。
◎調査対象	首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県)、関西圏(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県)、東海圏(愛知県、岐阜県、三重県)に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)

### ■事前調査

①調査目的	本調査の協力者を募集するために実施
②調査時期	2017年11月22日(水)~2017年12月1日(金)
③調査対象	首都圏、関西圏、東海圏に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)
④調査内容	本調査への協力意向、普段の外食頻度、普段の中食頻度
⑤配信数	398,715 件
⑥回収数	39,940 件
⑦本調査対象者数	17,457 件

- ◆本調査対象者の割付について
  - ・本調査では、回答者の偏りをできるだけなくすために、割付をおこなって回収した。
  - ・性年代別10区分×地域別25区分(首都圏地域13区分、関西圏地域8区分、東海圏地域4区分)=250セル について、平成27年国勢調査人口(総務省)に基づき割付をおこなった。
  - ・本調査の目標回収数は、首都圏4,000s、関西圏2,000s、東海圏2,000s、合計8,000sとした。

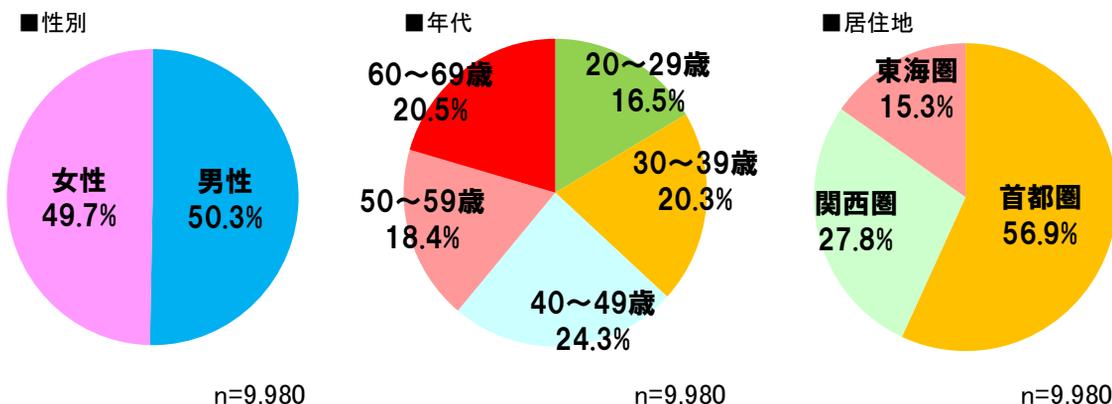
### ■本調査

①調査方法	・事前調査で本調査への協力意向が得られたモニターの中から、脱落率を加味して設定した必要数をランダムに抽出し、本調査の案内メールを通知。
②調査期間	2018年1月5日(金)~2018年1月12日(金)
③配信数	13,352 件
④回収数	10,039 件 (回収率 75.2 %)
⑤有効回答数	9,980 件 (首都圏 5,104 件、 関西圏 2,599 件、 東海圏 2,277 件)

※回収された票のうち、自由回答コメントから、主旨に合わないと思われる票を無効としたほか、事前調査時の普段の外食・中食頻度の回答と、本調査時の1カ月間の外食・中食回数が著しく乖離している場合、事前調査時の住所と、本調査時の住所が、圏域を越えて変わっている場合を無効とした。

- ◆集計方法について
  - ・本調査結果は、平成27年国勢調査人口(総務省)における割付(性年代別10区分×地域別25区分=250セル)別の構成比に合わせてサンプル数を補正したウェイトバック集計をおこなっている。
  - ・補正後のサンプル数は次の通り。  
3圏域・計 9,980 件(首都圏: 5,682 件、関西圏: 2,770 件、東海圏: 1,528 件)

### ◆回答者プロフィール(ウェイトバック後)



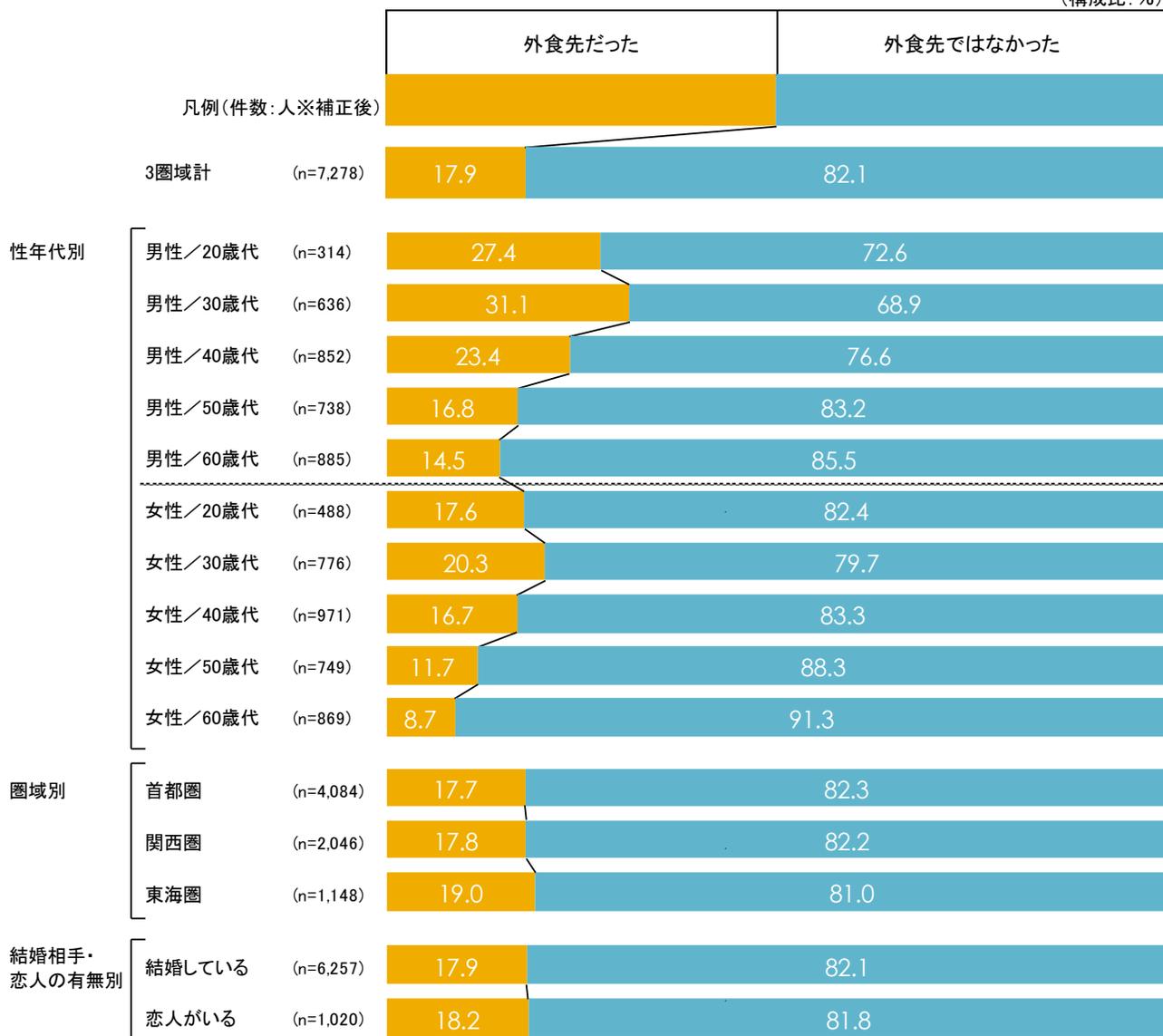
## 1. 結婚相手や恋人と「外食先で出会った」人は17.9%

現在、結婚している、または、恋人がいる人の相手との出会いが「外食先」であったかを聞いた。全体では17.9%の人が「外食先で出会った」との回答であった。性年代別では30代男性では「外食先で出会った」が特に高く、31.1%。次いで20代男性が同27.4%。結婚している人・恋人がいる人別では、結婚している人で「外食先で出会った」は17.9%、恋人がいる人で同18.2%と、大きなスコアの違いはなかった。（※結婚している人と恋人がいる人の性年代別の分布などは次ページを参照）

昨今、地方創生や観光など交流人口の拡大に向けて宿泊業や飲食業の役割が重みを増してきているが、少子高齢化対策という意味でも、出会いの2割弱が外食がきっかけという結果は、小さくはない影響力と言えるだろう。

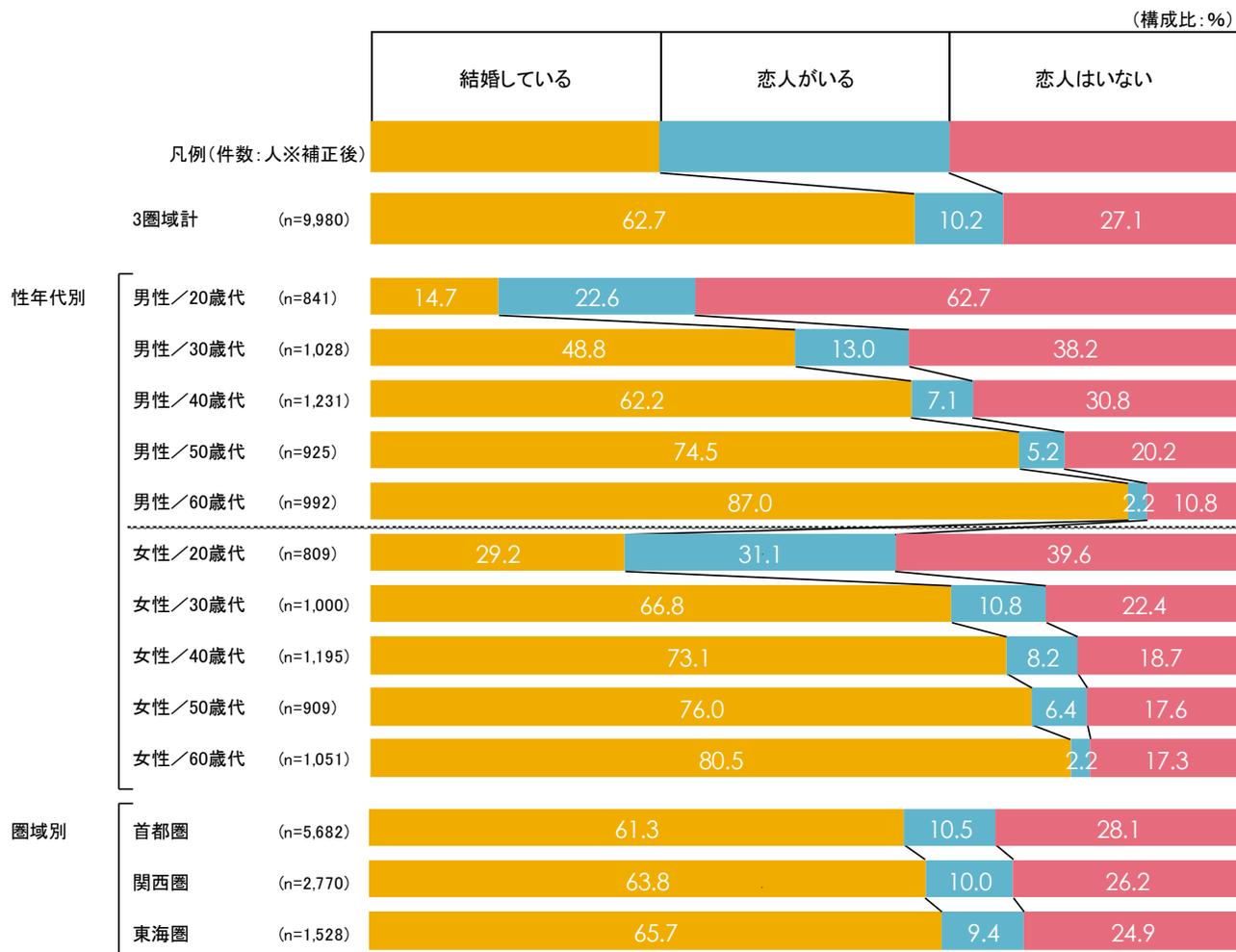
### ■ 結婚相手や恋人と出会った場所は、外食先だったか（結婚相手や恋人がいる方／単一回答）

（構成比：%）



※外食先だった：「結婚相手や恋人と出会った飲食店の業態」「結婚相手や恋人と出会ったシチュエーション」の回答を積み上げて集計

## ■（参考）結婚相手や恋人の有無（全体／単一回答）

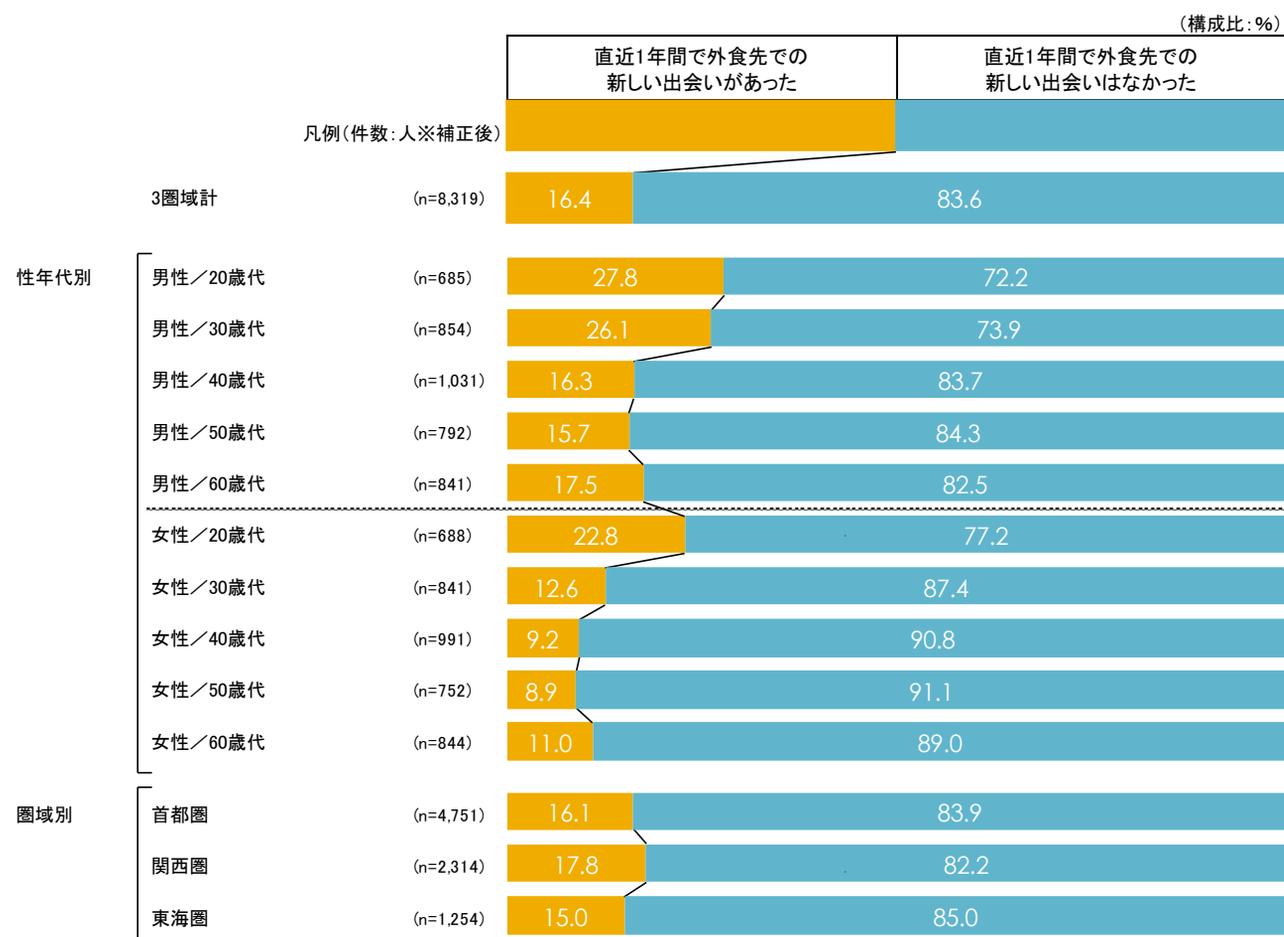


## 2. 直近1年に外食先で「新しい出会いがあった」人は16.4%

次に、直近1年に外食先で“友達以上”になった「新しい出会いがあった」かどうかを聞いた。全体では、16.4%が外食先で「新しい出会いがあった」と回答した。性年代別では男性のほうが女性よりも外食で「新しい出会いがあった」と回答した人が多く、年代は若いほうが相対的にスコアが高いが、男女とも最も割合が少ない世代は50代で、逆に60代になると微増に転じる傾向であった。

圏域別では関西圏において外食先で「新しい出会いがあった」人が17.8%と他の圏域より多く、逆に東海圏では15.0%と少なかった。

### ■ 直近1年間で外食先での新しい出会いがあったか（全体／単一回答）



※ここでの「出会い」とは、「恋愛や結婚の対象として気に留める相手」に加え、恋愛対象である性別で、「飲み仲間」「友人」か、それ以上になった間柄の相手を含む

※直近1年間で外食先での新しい出会いがあった：「直近1年間で新しい出会いがあった飲食店の業態」「直近1年間で新しい出会いがあったシチュエーション」の回答を積み上げて集計

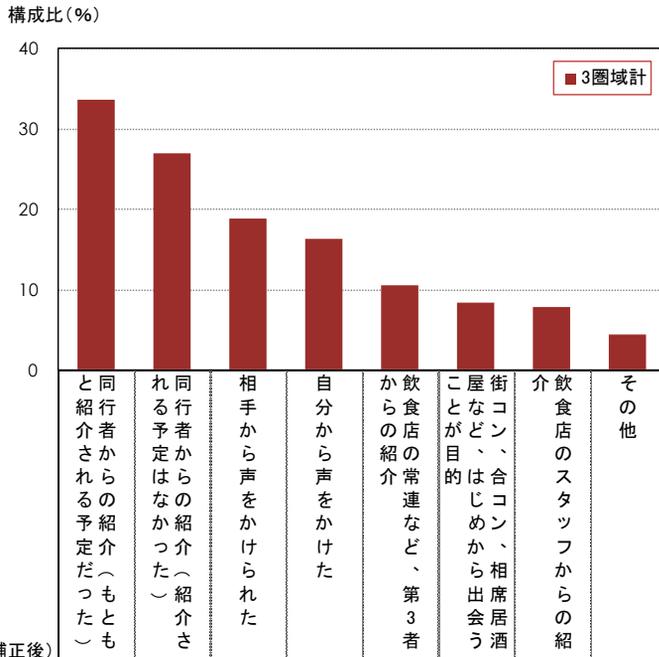
### 3. 知り合ったきっかけは「もともと紹介される予定だった」が33.6%で最多。

「声をかけた」は男性から女性が多い。20代では合コン等出会い目的の飲食も健在

直近1年で“友達以上”になった出会いのきっかけは、1、2位が「同行者からの紹介」で、うち「もともと紹介される予定」が33.6%、「予定はなかったが紹介された」が27.0%と多数。“持つべきものは友達”という結果であった。3位の「相手から声をかけられた」は20・30代女性で多く、4位「自分から声をかけた」は20～40代男性で高め。声をかけるのは男性から女性が多いようだ。また、若者の草食化などが叫ばれるが、「街コン、合コン、相席居酒屋など、はじめから出会うことが目的」では、20代男女で相対的にスコアが高く、若年層では出会い目的の飲み会もまだまだ健在であることが確認された。

#### ■直近1年間に外食先で出会った相手と知り合ったきっかけ

(直近1年間で外食先での新しい出会いがあった方／複数回答)



(件数:人※補正後)

		3圏域計	1,367	33.6	27.0	18.8	16.3	10.5	8.3	7.8	4.4
性年代別	男性/20歳代	191	33.9	29.2	15.1	23.3	7.8	12.7	5.3	-	
	男性/30歳代	223	41.8	25.5	14.8	24.2	13.3	6.0	4.5	2.2	
	男性/40歳代	168	30.5	27.9	18.0	21.7	11.9	7.7	12.5	1.9	
	男性/50歳代	124	32.1	29.8	16.0	21.1	13.8	4.6	13.3	3.0	
	男性/60歳代	147	27.4	31.7	12.0	17.7	15.2	3.4	7.9	5.6	
	女性/20歳代	157	38.4	21.9	30.3	7.9	4.7	17.5	4.9	2.2	
	女性/30歳代	106	32.1	24.0	28.4	10.6	7.0	12.1	11.1	3.6	
	女性/40歳代	91	31.0	28.8	17.4	3.3	6.3	7.2	8.7	14.2	
	女性/50歳代	67	29.8	29.8	17.8	5.5	5.9	4.7	8.0	14.2	
女性/60歳代	93	29.5	22.2	23.2	5.5	15.8	2.2	4.5	11.2		
圏域別	首都圏	767	34.0	27.7	19.3	16.4	10.8	7.1	7.6	4.1	
	関西圏	411	34.6	25.6	18.1	17.8	9.9	9.2	7.7	4.9	
	東海圏	188	29.6	27.4	18.1	12.7	10.7	10.9	8.5	4.7	

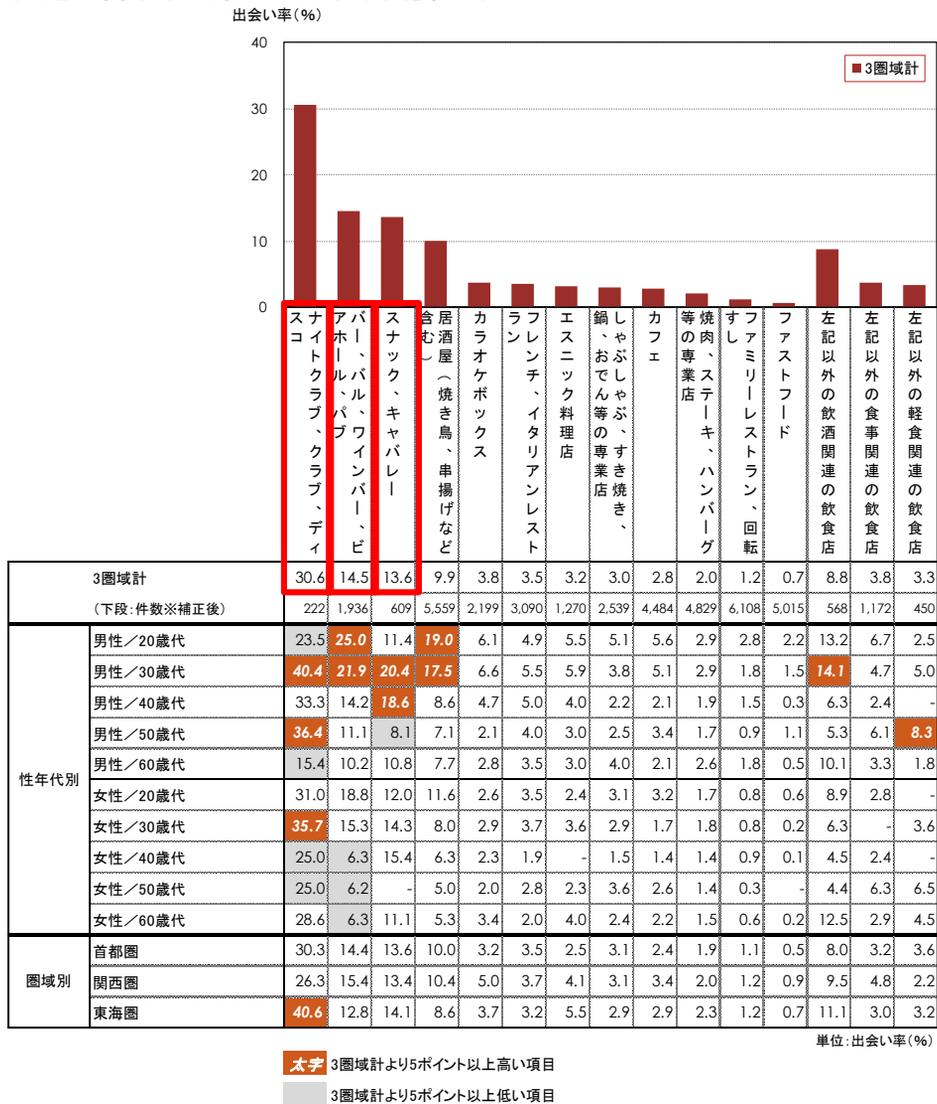
太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目  
 3圏域計より5ポイント以上低い項目

※ここでの「出会い」とは、「恋愛や結婚の対象として気に留める相手」に加え、恋愛対象である性別で、「飲み仲間」「友人」か、それ以上になった間柄の相手を含む

#### 4. 「出会い率」の高い業態、1位は「ナイトクラブ、クラブ、ディスコ」で30.6%

いったいどのような飲食店に行くと出会いの確率が高いのか？ 分母を過去1年で利用したことのある業態、分子を過去1年で“友達以上”の出会いがあった業態で、「出会い率」を算出した。1位は「ナイトクラブ、クラブ、ディスコ」で30.6%。50代男性でも平均よりもかなり高い割合で出会いがあったりするの、踊らない「クラブ」も含んでいるためか。2位は「バー、バル、ワインバー、ビアホール、パブ」で14.5%、3位は「スナック、キャバレー」で13.6%と続く。上位はアルコール主体の業態で占められていることから、飲食店での出会いは飲酒をする人のほうが確率が高いと言えそうだ。

#### ■ 飲食店の業態別・直近1年間での外食における出会い率



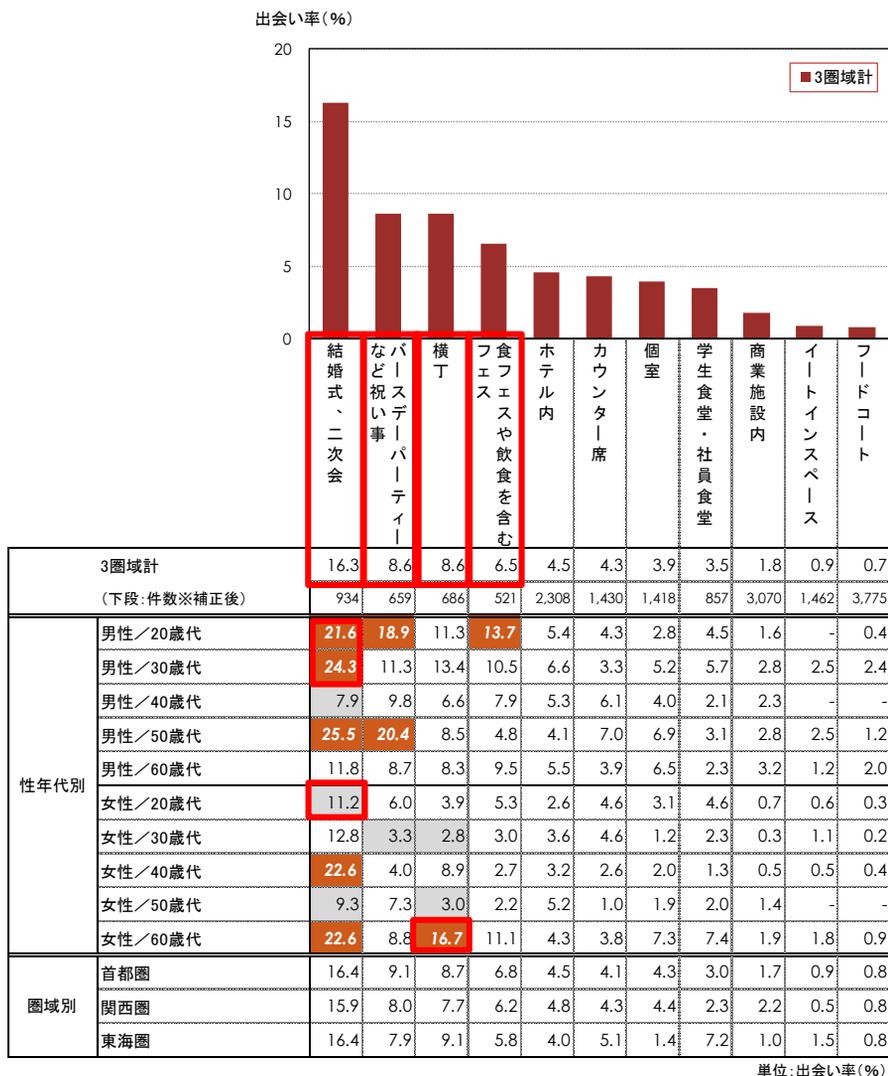
※出会い率：直近1年間で新しい出会いがあった飲食店の業態/直近1年間で利用したことのある飲食店の業態で算出。「ナイトクラブ、クラブ、ディスコ」の女性/40歳代・50歳代・60歳代は、サンプル数が10未満と少なく、誤差が大きいので、参考程度にご覧ください

※ここでの「出会い」とは、「恋愛や結婚の対象として気に留める相手」に加え、恋愛対象である性別で、「飲み仲間」「友人」か、それ以上になった間柄の相手を含む

## 5. 「出会い率」の高いシチュエーションは「結婚式、二次会」「祝い事」そして「横丁」！

飲食店の業態ではなく利用したシチュエーション別にも「出会い率」を算出した。1位は「結婚式、二次会」で16.3%、2位は「バースディパーティーなどの祝い事」と「横丁」が同率8.6%と続いた。「横丁」は気軽なコミュニケーションが活発に行われる場としても注目されており、納得の結果と言える。4位は「食フェスや飲食を含むフェス」が6.5%。性年代別では、「結婚式、二次会」は、20・30代男性で出会いが多い一方、20代女性では逆に出会いが少ないようだ。また、「横丁」での出会いでは、60代女性が平均よりかなり高いスコアであることも興味深い。昨今ブームの再生型横丁（新設した横丁）は若者中心にターゲットを定めて集客しているような場合が多いが、旧来型の横丁（かつてから地域にある横丁）は、シニアの支持も厚く、地域内の出会いのコミュニティとして機能している側面もあるのかもしれない。

### ■シチュエーション別・直近1年間での外食における出会い率)



太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

3圏域計より5ポイント以上低い項目

※出会い率：直近1年間で新しい出会いがあった飲食店の業態/直近1年間で利用したことのある飲食店の業態で算出。  
 ※ここでの「出会い」とは、「恋愛や結婚の対象として気に留める相手」に加え、恋愛対象である性別で、「飲み仲間」「友人」か、それ以上になった間柄の相手を含む